



2019

2 月号

No.520

くまもとまてでとら 成人おめでとう



平成31年成人式



成人おめでとうございます



▲町長とフリートーク

平成31年成人式

1月13日、九度山町ふるさとセンターで「成人式」が開催され、新成人たちが大人の自覚を胸に、新たな一歩を踏み出しました。

今年は、平成10年4月2日から平成11年4月1日までの間に生まれた新成人が出席しました。振り袖やスーツに身を包み、久しぶりに会う友人たちと思い出話や近況報告などに花を咲かせていました。

式典は、コーラスグループ「トウインクル」の皆さんによるコーラスが始まり、岡本町長をはじめ来賓の方々から新成人に激励の言葉が贈られました。

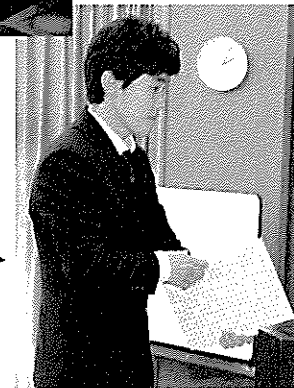
また、九度山幼稚園3才〜5才の園児たちもお祝いの歌やダンスを披露し、新成人の皆さんを祝福しました。これにこたえて、新成人を代表し、木上真歩さんが成人としての誓いの言葉を述べました。

式典終了後に新成人の皆さんは、岡本町長と約30分間、フリートークをしました。フリートークでは皆さんの夢が語られました。

今後の皆さんのますますのご健勝をお祈りします。



▲誓いの言葉を述べる木上真歩さん



▲新成人代表として記念品を受け取る松山佳生さん

2月1日現在
開催まで
あと282日



第32回全国健康福祉祭和歌山大会 2019年11月9日(土)〜11日(日)
ねりんピック紀の国わかやま2019
あふれる情熱はじける笑顔

くなぎなた競技の見方
くなぎなたの競技には、「試合」と「演技」の2つがあります。

「試合競技」は防具を身につけ、2人の試合者が定められた部位(面部、小手部、胸部、腰部、咽頭部)を確実に早く打突して勝負を競います。技は、振りあげ、持ちかえ、振り返しなどがあり、敏速な動きの中から打突の機会を見だし、全力をあげて技を競い合い、相手に対して、よい間合いからタイミングよく技を出すことが勝利に結びつきます。

「演技競技」は防具を身につけ

ず、指定された形を対人で行ってその技を競います。全日本くなぎなた連盟のしかけ応じ8本の中から定められた3本を、2人1組の演技者によって行い、その技の優劣を競い合います。

くなぎなたの技の向上をはかるとともに、正しいくなぎなたの普及発展を目的として行われる競技です。

演技の判断基準となるものは、演技者双方の姿勢、服装、態度、発声、呼吸と気持が調和しているか、打突部位を正確に気魄に満ちた打突をしているか、残心、間合、手の内、着眼等理合にかなった技であるか、見る人に感動を与えたかなどの点です。



(問合せ先)
九度山町福祉課ねりんピック推進室
☎0736(54)2019



なぎなた交流大会
11月10日~11日



▲小さな来賓もお祝いに駆けつけてくれました



▲すてきな歌声が会場に広がりました



サッカーで優秀な成績

12月22日に橋本市運動公園で「チビリンピック伊都予選」が開催され、松本金十郎さん（九小1年）が所属するデポルターレ和歌山FCが優勝しました。



▲前列左から4番目が松本さん

エアロビクスで優秀な成績

12月1日に神戸市六甲アイランドで「第30回全日本エアロビクスコンテスト全国大会」が開催され、小学生低学年シングル部門で嶋田有彩さん（九小3年）が優勝しました。



九度山・真田ミュージアム企画展「これが真田丸だ！展」第2期開催中

九度山・真田ミュージアムでは、3月31日（日）まで企画展「これが真田丸だ！展」第2期を開催中です。2月中は、「真田家御系図御武功」を、3月中は、「難波後記」を展示紹介します。

○「真田家御系図御武功」は江戸時代中期に書かれたものです。この頃、幕府からの求めもあって全国の緒大名の多くが自家の系図づくりを行っています。真田家も信州松代藩を主家として、自家の系図を作成したことがわかります。信濃国小県郡（現在の長野県上田市）の海野棟綱の子真田幸隆が小県郡真田郷を領して真田庄に居住して以後、真田姓を名乗ったと記録されています。

この真田家の記録では、幸村は、信繁や真田左衛門佐と書かれ、九度山では好白と名乗ったと記録されています。大坂城入城後の記録には、幸村と書かれていることがわかります。大坂の陣では、兄の信之は徳川方につきましたが、弟の信繁（幸村）は、豊臣方に馳せ参じ、徳川家康を手こずらせたのち討死にしたと記録されています。

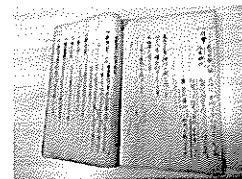
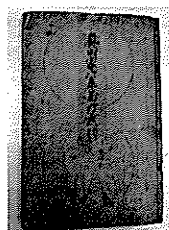
○「難波後記」は、軍記もので江戸時代後期に書かれています。大坂城落城後から島原の乱までの23年間の主な出来事が記録されています。特に最初の1巻の冒頭に大坂夏の陣での信繁（幸村）の最期の事が書かれています。

これによれば、信繁（幸村）の最期は、越前松平藩の西尾仁左衛門が相手を幸村と知らないまま槍で戦い打ち取りましたが、同藩中で幸村と知合いの原隼人佐貞嵐が涙ながらに幸村の首であると指摘したので、すぐさま家康に報告したと書かれています。

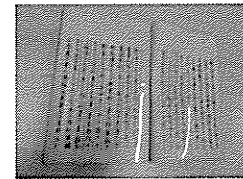
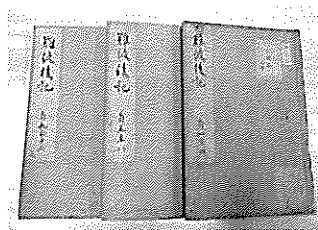
幸村の最期については諸説がありますが、幸村は勇士の名を汚さないようにしようとしていたことがわかります。これを裏付ける文書として貴重な史料です。

是非ご家族・お友達お誘いのうえ多数ご来館ください。

【お問合せ】九度山・真田ミュージアム（☎54-2727）



◀▲真田家御系図御武功



◀▲難波後記

「九度山町社会を明るくする運動」作文コンテストの表彰式

12月10日、平成30年度「九度山町社会を明るくする運動」作文コンテストにおいて、次の方々が九度山町長表彰を受賞されました（敬称略）。『』内は各受賞者の作品です。

社会を明るくする運動は、すべての国民が、犯罪や非行の防止および罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせて、犯罪のない明るい社会を築こうとする国民的な運動です。

- 優秀賞（3名）（敬称略）
 - 岡 優里（九度山中2年）
『平和の意味』
 - 小野寺 涼美（九度山中2年）
『明るい未来』
 - 尾上 ひなの（九度山小6年）
『友達』



（左から）町長、尾上さん、岡さん、小野寺さん▲

なお、優秀賞受賞者3名の作文は、今月号のお知らせ版に掲載しています。

永年勤続民生委員・児童委員表彰を受賞

このたび、6名の民生委員・児童委員の皆さんが、永年勤続民生委員・児童委員表彰を受賞されました。

受賞者の皆さんは、民生委員・児童委員として11年間にわたり活動され、社会福祉の増進に多大な貢献をされた功績により表彰されました。

- 受賞者の皆さん（敬称略）

村上 公三（河根）	前田 政宏（下古沢）
北林 みはる（慈尊院）	泊里 薫（九度山）
小西 恵代（北又）	三浦 多代（河根）

（後列左から）村上さん、町長、前田さん（前列左から）三浦さん、泊里さん、北林さん、小西さん▲



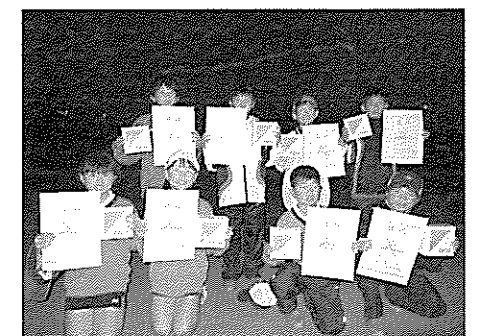
スポーツの大会において、好成績を収めましたので、お知らせします。

スポーツ

九度山ジュニアソフトテニスクラブが優秀な成績

平成30年12月2日（日）に白浜町テニスコートで第18回全日本小学生ソフトテニス選手権大会の和歌山県予選会が開催され、当クラブが優秀な成績を収めました。なお、各クラスの入賞者（全員）は、県代表として平成31年3月29日～31日に千葉県白子町で開催される第18回全国小学生ソフトテニス大会に出場します。（敬称略）

- 5年生男子の部
 - 準優勝 正野 貴之（5年）、宮下 光希（5年）
- 4年生以下男子の部
 - 準優勝 木上 漣（4年）、海堀 大翔（4年）
 - 第3位 林 寿李稀（3年）、中邑 夢弥（3年）
- 4年生以下女子の部
 - 第4位 北村 朱寿加（4年）、中谷 璃音（4年）



消防出初式

1月7日、平成31年九度山町消防出初式が、ふるさとセンターにて執り行われました。

団員総勢250名が、一糸乱れぬ団結力を披露し、今年1年が災害のない年であるよう願うとともに、防火・防災意識の高揚を図りました。

式典では岡本町長が式辞を述べ、続いて中谷消防団長が訓示を述べました。その後、消防活動に対して功績があった団員の表彰や来賓の皆さんの祝辞などが行われ、会場は厳粛な空気に包まれていました。

式典終了後は、分列行進と消防車両によるパレードが行われ、その後入郷児童館下の河川敷に場所を移して一斉放水訓練を行いました。日ごろの訓練の成果を披露し、見学に訪れた人たちに今年1年の防火へ向けた決意を示しました。



▲一斉放水訓練

表彰

出初式では、次の方々に表彰状または感謝状が贈られました。(敬称略)

■和歌山県消防協会総裁表彰

◎20年勤続表彰

〔第3分団〕

松尾 浩一 西岡 勝男
岡本 光史

〔第4分団〕

木村 晃也 上西 良典
柳谷 直人

◎5年以上勤続の退団感謝状

山本 恵造 榊谷 泰弘
宮下 幸生 佐古 昇

鳴神 忠嗣

■伊都地域消防協会会長表彰

◎功績章

〔第1分団〕

梅下 哲弘 木上 智晴

〔第2分団〕

源 将暢 丹下 芳弘

〔第3分団〕

岩田 雄三 刀祢 邦彦

〔第4分団〕

徳谷 全昭 田島 勇輝

◎10年勤続表彰

〔第1分団〕

中谷 允郊 岩井 繁明
岡 賢一

〔第2分団〕

石本 真一

◎消防操法大会出場感謝状

①ポンプ車操法の部

〔第1分団〕

梅下 哲弘 松山 智紀
木上 智晴 田中 寛人

〔第2分団〕

藤田 和久 藤井栄太郎
玉置 真一 玉置 雄祐

②小型ポンプ操法の部

〔第3分団〕

久保 圭太 下西 啓介
中川 昭宏 田和 浩

〔第4分団〕

米田 弘 徳谷 全昭
田島 勇輝

■九度山町長表彰

山本 恵造 榊谷 泰弘
宮下 幸生 佐古 昇

◎15年以上勤続退団感謝状

山本 恵造 榊谷 泰弘
宮下 幸生 佐古 昇

山本 恵造 榊谷 泰弘

山本 恵造 榊谷 泰弘

山本 恵造 榊谷 泰弘

山本 恵造 榊谷 泰弘

山本 恵造 榊谷 泰弘

山本 恵造 榊谷 泰弘

山本 恵造 榊谷 泰弘

山本 恵造 榊谷 泰弘

山本 恵造 榊谷 泰弘

山本 恵造 榊谷 泰弘

山本 恵造 榊谷 泰弘

山本 恵造 榊谷 泰弘

山本 恵造 榊谷 泰弘

山本 恵造 榊谷 泰弘

山本 恵造 榊谷 泰弘

山本 恵造 榊谷 泰弘

〔第4分団〕

米田 弘 不動 憲男
保田 忠志 亀澗 圭治
刀禰智枝満

■和歌山県知事表彰

◎永年勤続功労章

〔本部〕

副団長 福岡 忠司

〔第2分団〕

西畑 敏明

〔第3分団〕

岡 清司 南 健

■和歌山県消防協会総裁表彰

◎40年勤続章

〔第2分団〕

西畑 敏明

◎竿頭綬

西畑 敏明

西畑 敏明

西畑 敏明

西畑 敏明

西畑 敏明

西畑 敏明

西畑 敏明

西畑 敏明

西畑 敏明

西畑 敏明

西畑 敏明

西畑 敏明

西畑 敏明

西畑 敏明

西畑 敏明

西畑 敏明

西畑 敏明

西畑 敏明

